

第8回 旅行とお菓子の意外(?)な関係

このコラムをお読みいただいている皆さんの中で、お菓子が好きな方は多いのではないのでしょうか。

普段の通勤カバンの中に忍ばせている方もいるかも知れませんが、中には、毎日「食事代わり」に食べている方もいらっしゃるかも知れません。

身の回りには、本当にたくさんの種類のお菓子が溢れていますので、「普段あまり食べない」という方は多いかも知れませんが、おそらく「全てのお菓子が嫌い」という方は少ないのではないかと思います。

「全日本菓子協会」の統計資料によれば、2009年のお菓子の小売金額(※国内メーカーによる国内販売額の推計)は、約3兆2,570億円あるとのこと。

金額の内訳をみると、例えば「チューインガム」の小売金額は約1,580億円で、「せんべい」(約760億円)の約2倍程度という結果が出ており、栄えある第1位には「和生菓子(ようかん、まんじゅう等)」(約5,040億円)が輝いています。

さて、少し前置きが長くなりましたが、今回のコラムでは、お菓子と旅行の関係についてのお話したいと思います。

観光庁では、国民の皆さんが1年間で「何回旅行に行ったのか」、「旅行でいくらお金を使ったのか」などを平成15年度から毎年「旅行・観光消費動向調査」で毎年調べています(これまで調査にご協力くださった方には、この場を借りて御礼を申し上げます)。

ご協力いただいた方々からの貴重な情報を基に、観光施策を企画・立案する上での基礎資料を作成しており、「国内の旅行消費額22.1兆円」はこの調査結果を基に算出しております。「22.1兆円」という数字については、ご覧いただいた方も多かもしれませんが、実はこの調査では、「旅行に使ったお金」の内訳を、もう少し細かく回答いただいています。

例えば、お金を使った時期を旅行の「前(準備)」、旅行中、旅行の「後」に分けてそれぞれ聞いていますし、具体的に何を買ったのか、費目も細かく聞いています。

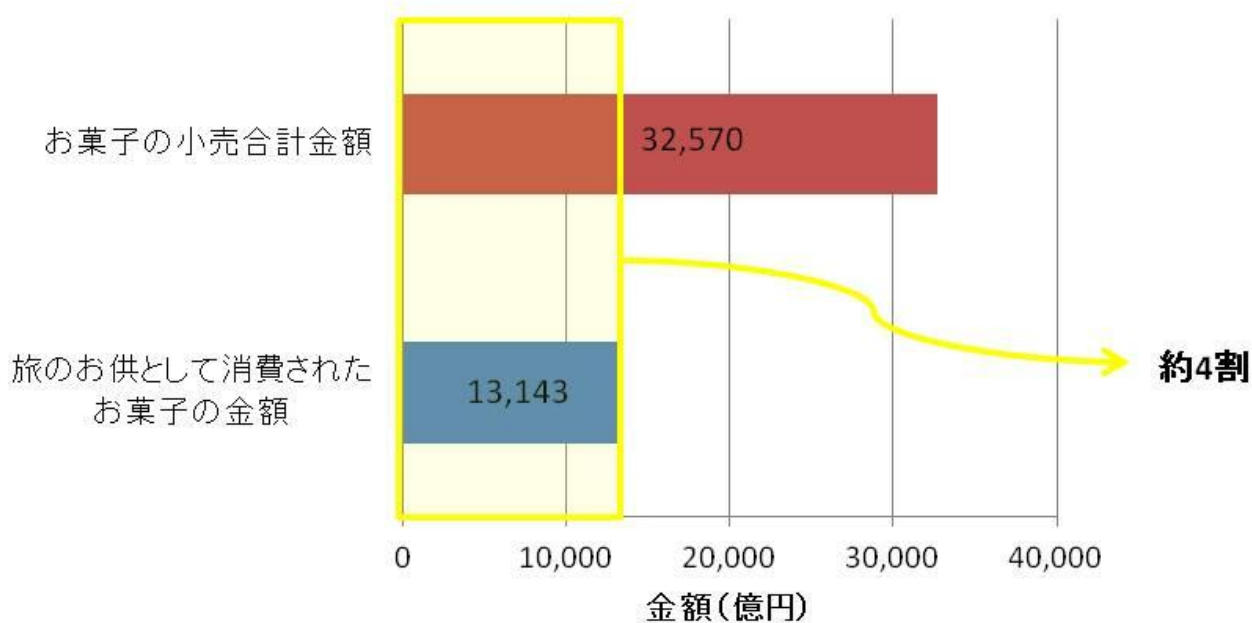
2009年度の調査結果で言えば、日本国民の旅行消費額は約22兆円という結果が出ていますが、例えば「ガソリン代」は約1兆944億円、「バス代」は約4,338億円というように、費目別に金額を見ることが出来ます。

では、肝心の「お菓子」はいくらぐらいだと思いますか？

「お菓子」の金額は、旅行前・旅行中合わせて、約1兆3,143億円です。

統計期間が若干違いますが、先ほどの小売金額（2009年：約3兆2,570億円）と並べてみると、日本国内で買われたお菓子のうち、約4割が旅のお供として消費されていることになります。

【「お菓子の小売り合計金額」と「旅のお供として消費されたお菓子の金額」】



旅行と密接に関連するものと言えば、宿泊施設や飲食店等を真っ先に思い浮かべる方も多いかもかもしれませんが、「お菓子」も旅行と密接な関係にあるといえるかも知れません。

日本中に広まっているお菓子のほか、国内各地には、全国的にはあまり知られていない、ご当地ならではの菓子もあるのではないのでしょうか。

今後、「宿泊パック」ならぬ「ご当地お菓子パック」のようなものも登場するかも知れません。

「旅行・観光消費動向調査」では、その他にも細かな分類ごとの消費金額を載せていますので、ご興味のある方は、是非一度ご覧ください。

※お菓子の小売り金額は全日本菓子協会「平成21年菓子統計」より出典

※旅行・観光消費動向調査の2009年度の数値は暫定値

今回のコラムで使用した統計は...旅行・観光消費動向調査

【執筆者】 観光庁 観光経済担当参事官付 奥山夏樹